

No.	027	—	1001	事務事業名	埋蔵文化財試掘・本発掘事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	歴史民俗資料館	係名	学芸係	電話番号	089-964-0701	メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営・一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 芸術・文化の振興		主要施策	(3)文化財の保存・活用				
	事業の対象	周知の埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等				根拠法令	文化財保護法						
	事業の目的	最終的	周知の埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等に先立ち、試掘・発掘調査を実施し、埋蔵文化財を保護すること			今年度							
	活動内容	①	土木工事等が周知の埋蔵文化財包蔵地に該当しないかどうかの事前協議を行います。(建設部局からの合議という方法で実施)			④	試掘・確認調査の報告書を作成します。						
		②	事業者から市へ周知の埋蔵文化財包蔵地での試掘・確認調査の依頼があれば、市は県へ届出を行い、試掘・確認調査の指示を待ちます。			⑤	出土物があった場合は遺失物法による届出を行います。(後に県から市へ譲り受ける。出土品は展示室等で活用します。)						
		③	市は県の指示に基づいて、試掘・確認調査を行います。(試掘・確認調査の一部は業者に委託して実施)										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
				事業の性格上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育							
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	26,710 千円	事業費は、民間土木工事と公共工事に係る試掘・確認調査委託料と消耗品です。平成23年度実施予定の揚り畑遺跡発掘調査が24年度になったため、24年度予算額が多くなっています。							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	4,447 千円	1,056 千円	2,082 千円								
	計(A)	4,447 千円	1,056 千円	28,792 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.169 人	1,274 千円	0.173 人	1,045 千円	0.173 人	1,046 千円					
		臨時職員工数・経費	0.130 人	221 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		5,942 千円		2,101 千円		29,838 千円						
一次評価者	学芸係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	国民の財産である埋蔵文化財の保護のために、周知の埋蔵文化財包蔵地内での試掘・確認調査は必要です。												
有効性	試掘・確認調査の目的は、国民の財産である埋蔵文化財の保護にあります。土木工事等に先立ち行う試掘・確認調査は、埋蔵文化財の保護目的のためには有効な手段です。												
達成度	周知の埋蔵文化財包蔵地内での試掘・確認調査は、建設部局から工事計画等について書類で合議(=事前協議)を行っています。埋蔵文化財が知らない間に破壊されることを防止する目的は達成されています。												
効率性	土木工事等のうち、周知の埋蔵文化財包蔵地内で実施されるものについて、試掘・確認調査を行います。実施方法は県の指示による。過去の試掘・確認調査のデータから工事立会にとどめる場合もあります。												
当面の課題	埋蔵文化財包蔵地内での公共工事は、事前協議等により把握できますが、個人住宅建築等の把握は建築確認申請があつてからでないと把握できません。したがって、着手前60日目の事前協議が法定されているにもかかわらず、なかなか事前協議の理解が得られない場合があります。												
改革計画	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等には、事前協議(着手の60日前)が必要ということ、包蔵地の範囲はここですということなどをHPに掲載しているほか、広報等にも掲載(包蔵地の範囲変更時)していますが、更なる周知徹底が必要です。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	埋蔵文化財保護のためには、市民の皆様の理解をいただくことが必要不可欠です。より一層の制度周知をしてください。												

No.	027	—	1002	事務事業名	文化財保護事業		細事務事業名			公的関与	1		
PLAN	課名	歴史民俗資料館	係名	学芸係	電話番号	089-964-0701	メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営・一部委託・補助等	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/>	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 芸術・文化の振興		主要施策	(3)文化財の保存・活用				
	事業の対象	指定文化財（国・県・市の指定文化財所有者または管理責任者）				根拠法令	文化財保護法						
	事業の目的	最終的	文化財の保護と活用			今年度							
	活動内容	①	重要文化財建造物の防災防火事業⇒重要文化財建造物の消防設備点検と防火訓練				④	指定文化財保存育成事業⇒指定文化財の所有者または管理責任者に対して、毎年、保存育成補助金または管理費補助金を交付					
		②	指定文化財等周辺の除草清掃⇒向井古墳、ビヤクシン、層塔及び五輪塔群等の除草清掃（一部委託）				⑤						
		③	指定文化財説明看板設置⇒毎年3カ所に新規設置										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
				文化財の保存・継承が目的のため、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,403 千円	1,826 千円	1,612 千円								
	計(A)	1,403 千円	1,826 千円	1,612 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.410 人	3,091 千円	0.378 人	2,283 千円	0.378 人	2,287 千円					
		臨時職員工数・経費	0.048 人	82 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		4,575 千円	4,109 千円	3,899 千円								
一次評価者	学芸係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	文化財は保存・伝承により後世に継承されます。文化財の所有者や継承団体による保存・伝承は、国民の財産である文化財の保存・伝承そのものといえます。特に指定文化財の保護については、行政が保護する必要があります。												
有効性	文化財に対する認識や歴史的価値観の周知等を正しく行うことは、地域に伝わる文化財の保存、活用、再発見等につながります。文化財の保護（保存・伝承）は、郷土の文化の継承に有益であると考えられます。												
達成度	指定文化財の保存や伝承は問題なく継承されています。また後世に引き継いでいくことが必要であるため、今後も文化財保護活動を継続していきます。現在のところ、伝承事業の衰退や指定文化財の破損はありません。												
効率性	文化財の保存・伝承は、有形文化財、天然記念物、無形民俗文化財によって方法等が異なります。そこで、国や県などからそれぞれに適した保存・伝承の情報や方法を取り入れ、実施していきます。												
当面の課題	指定文化財の所有者や伝承者には、県の文化財巡視員からの巡視情報をはじめ、必要な情報の提供に努めていますが、68件の指定文化財すべての状況把握は難しく、所有者・管理者との連携協力が必要です。												
改革計画	指定文化財の所有者や伝承者が行う保存や伝承の状況について、年1回の市補助金申請時に文書で報告を受けています。その報告に基づいて現地調査を行うなど、文化財所有者や管理責任者と協力しあえる体制づくりに努めています。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	市内の文化財の保存・伝承並びに文化財に対する理解を深めていただく事業等を考えてください。												

No.	027	—	1007	事務事業名	向井古墳史跡公園整備事業	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	歴史民俗資料館	係名	学芸係	電話番号	089-964-0701	メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	直営・一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 芸術・文化の振興		主要施策	(3)文化財の保存・活用				
	事業の対象	向井古墳（北吉井樋口地区にある6世紀の古墳）				根拠法令							
	事業の目的	最終的	向井古墳を史跡公園として整備しようとする事業です。墳丘部を中心に、史跡として保存します。子どもをはじめ、市民が郷土史を学ぶ場所として、また身近な史跡公園として利用することを目的としています。			今年度	向井古墳を史跡として整備するハード事業を、より活用いただくための利活用計画を策定します。						
	活動内容	①	向井古墳史跡整備検討委員会で、向井古墳史跡公園の利活用について検討し、利活用計画を策定します。			④							
		②	古墳周辺の除草作業を年2回実施。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
				事業の性質上、指標設定にはなじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	平成22年度は、整備プラン策定委託料、23年度は、利活用計画策定委託料、24年度は、石室の経年変化観測及び石室発掘調査委託料が主な内容です。							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,441 千円	715 千円	7,884 千円								
	計(A)	1,441 千円	715 千円	7,884 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.039 人	294 千円	0.064 人	386 千円	0.064 人	387 千円					
		臨時職員工数・経費	0.039 人	66 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		1,801 千円		1,101 千円		8,271 千円						
一次評価者	学芸係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市民の貴重な財産である古墳遺跡を行政は、保存・継承していく必要があります。												
有効性	地域の文化財の保存・継承は、郷土の文化の向上に有益です。												
達成度	向井古墳を史跡として整備するため、整備検討委員会を設置し、整備方法を検討しています。23年度利活用計画の策定、24年度経年変化観測・発掘調査の後、25年度以降、実施設計、史跡整備工事と進みます。												
効率性	向井古墳の整備方法は、遺跡整備に実績のある業者の提案するプランをベースに遺跡保存の専門家、有識者、地元自治会関係者で構成する整備検討委員会において検討しています。												
当面の課題	利活用計画で提案されている各種事業(ボランティアガイド養成ワークショップ、史跡めぐり、現地説明会、広報等)を公園整備前に行い、向井古墳について、市民の皆さんに認識を新たにしていただくよう努める必要があります。												
改訂計画	生涯学習課とも連携し、向井古墳に関するソフト事業を準備・実行し、多くの市民の方に訪れて頂くよう検討を行います。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	向井古墳史跡整備検討委員会で、今後どのような史跡公園にしていくにか、十分検討し、進めてください。												

No.	027	—	1010	事務事業名	歴史民俗資料館	係名	学芸係	電話番号	089-964-0701	メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp	公的関与	8
事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち			政策項目	4 芸術・文化の振興			主要施策	(4)歴史民俗資料館の充実			
事業の対象	市民						根拠法令						
事業の目的	最終的	歴史民俗資料館が郷土の歴史を学ぶ場となること。					今年度	郷土史講座、れきみん講座(勾玉作りや麦わら細工など)の講座の開設と企画展示により、市民に興味を持ってきてもらえる館の活動を目指します。					
活動内容	①	東温史談会と共催で年6回の郷土史講座を開催します。					④	小中学校の児童生徒の郷土史学習を支援します。					
	②	親子で体験する講座で①勾玉作り、②麦わら細工の2講座を実施しています。					⑤						
	③	出前講座による郷土史や文化財についての学習活動を支援します。											
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
			事業の性格上、指標設定になじまない。			目標							
						実績							
						目標							
						実績							
						目標							
					実績								
予算費目	会計	一般会計				費目名	教育						
直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考								
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	平成22年度は、外部講師を招いた実施講座を開催したため、若干事業費が上がっていますが、23・24年度は職員(学芸員)が講師を務めています。								
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
	一般財源	101 千円	4 千円	50 千円									
計(A)	101 千円	4 千円	50 千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	754 千円	0.092 人	556 千円	0.092 人	557 千円						
	臨時職員工数・経費	0.100 人	170 千円	0.092 人	167 千円	0.092 人	172 千円						
全体事業費(A+B)		1,025 千円		727 千円		779 千円							
一次評価者	学芸係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	郷土史講座とれきみん講座は、館の活動を広報し、利用者の増大を図るために有益です。親子で体験できる勾玉作り、麦わら細工などは、歴史民俗資料館が郷土史を学ぶ場所であることをPRする重要な事業です。												
有効性	各講座とも定員を超過する申し込みがあります。継続することは有益です。												
達成度	郷土史講座、れきみん講座、出前講座の開設のほか、小中学校児童生徒や各種の団体による施設見学を行います。見学を通じて郷土の歴史を学ぶことのよさを伝え続けます。												
効率性	れきみん講座は職員(学芸員2名)が指導者となって開設しています。郷土史講座は、市民の皆さんが興味のある演題で講師を招き実施しています。												
当面の課題	講座開設により、歴史民俗資料館の活動が広報され、ひいては展示見学の増大につながります。しかし、人気があるとは言え、講座の内容はここ数年変わっていないため、講座内容の見直しが今後必要です。												
改 革 画	講座の内容見直しは、より多くの関係者(史談会員、各種委員、講座参加者等)の意見を参考に検討します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	歴史民俗資料館の活動を市民の皆様にご覧いただくいい機会になっています。市民のニーズの把握に努め、マンネリ化した講座内容の見直しを行ってください。												

No.	027	—	1011	事務事業名	企画展・特別展等の公開事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	歴史民俗資料館	係名	学芸係	電話番号	089-964-0701	メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 芸術・文化の振興		主要施策	(4)歴史民俗資料館の充実				
	事業の対象	市民				根拠法令							
	事業の目的	最終的	歴史民俗資料の収集、歴史民俗資料館での保存及び展示公開			今年度	常設展示、企画展(季節展)のほか、収蔵資料の整理作業を行った成果を改めて展示します。						
	活動内容	①	歴史民俗資料の収集、分類整理、収蔵。展示等の広報(ホームページ・広報紙への掲載)			④	歴史民俗資料館ロビー展⇒収蔵品の中からテーマを絞って行う企画展						
		②	第1展示室での展示公開⇒常設展「東温市の歴史」			⑤	川内公民館ロビー展⇒「揚り畑遺跡出土品の展示」						
		③	第2展示室での展示公開⇒収蔵品を使った東温市に関する企画展										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		入館者の推移				人	目標	4,000	4,000	4,000	4,000		
実績							3,489	4,320					
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	経費は、展示用消耗品等です。							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	679 千円	134 千円	170 千円								
	計(A)	679 千円	134 千円	170 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.560 人	4,221 千円	0.470 人	2,838 千円	0.470 人	2,843 千円					
		臨時職員工数・経費	0.510 人	868 千円	0.470 人	855 千円	0.470 人	881 千円					
	全体事業費(A+B)		5,768 千円		3,828 千円		3,894 千円						
一次評価者	学芸係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	館の企画展・季節展は、東温市内で収集・寄贈された資料です。東温市の歴史や民俗について展示しています。東温市の歴史を学べる収集・展示を行っており、今後とも必要です。												
有効性	東温市に関する歴史・民俗資料の収集・展示を行うことは、東温市の歴史や民俗に関する文化を保存することにつながっています。展示は市民が先人の文化に触れる機会であり、継続すべき有益な事業です。												
達成度	収蔵品の中からテーマを設定して、展示を企画しています。展示は年間計画によって行われています。広報誌のほか、市HP掲載、市内小中学校への案内などにより、展示の内容をPRしています。												
効率性	展示は職員(学芸員2名)により行われています。川内公民館とさくらの湯においても写真パネル展なども行っています。展示企画の立案からキャプション作成まで職員の自作です。外注は行っていません。												
当面の課題	展示と表裏一体で重要なのは収蔵場所です。歴史民俗資料館の特別収蔵庫、第1収蔵庫に収まりきれない収蔵物は、川内支所第二別館、旧重信町給食センターとなっています。収蔵場所が分散しているので、統一的な収蔵場所の確保が必要です。												
改革計画	歴史民俗資料館の収蔵資料の整理作業に伴い、各収蔵場所の整理整頓を行った結果、若干の収蔵スペースが確保できたものの、長期的には、まとまった収蔵場所の確保が必要であり、市の施設全体で検討する必要があります。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	歴史民俗資料館は、民俗資料の多い資料館です。民具の展示を中心に独自性のある展示を心がけてください。												

No.	027	—	1016	事務事業名	歴史民俗資料館運営事務	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	歴史民俗資料館	係名	学芸係	電話番号	089-964-0701	メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 芸術・文化の振興		主要施策	(4)歴史民俗資料館の充実				
	事業の対象	歴史民俗資料館				根拠法令							
	事業の目的	最終的	歴史民俗資料館の管理			今年度							
	活動内容	①	歴史民俗資料館の修繕			④	備品の購入						
		②	歴史民俗資料館展示室のクリーニング清掃			⑤							
		③	事務用消耗品等の購入										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
				事業の性格上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	23 千円	19 千円								
		一般財源	1,015 千円	1,135 千円	1,918 千円								
	計(A)	1,015 千円	1,158 千円	1,937 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.050 人	377 千円	0.092 人	556 千円	0.092 人	557 千円					
		臨時職員工数・経費	0.010 人	17 千円	0.046 人	84 千円	0.046 人	86 千円					
	全体事業費(A+B)		1,409 千円	1,797 千円	2,580 千円								
一次評価者	学芸係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	施設の管理では、収蔵庫、展示室の空調管理が重要です。また、施設の大規模改修については、図書館と一体のため、図書館との協力が大事です。												
有効性	収蔵物を損なわない管理が重要です。また、展示施設でもあるため、来館者が利用しやすい環境の保持と情報提供に努めています。												
達成度	施設の大規模な改修工事等は予定されていませんが、修繕については速やかに対応し、来館者の方へ不都合が生じないようにしています。												
効率性	市立図書館の3階にあります。そこで階段壁面に展示PR用のパネルを掲示しています。												
当面の課題	建物自体が築20年以上経過しており、老朽化による修繕箇所や、機器の故障が年々増加しています。												
改革計画	会議や講座は中央公民館を利用しています。老朽化や耐震対策など大規模な修繕工事については、図書館の将来の大規模改修計画に含めて行います。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	図書館3階にある歴史民俗資料館の認知率を向上させるとともに、来館しやすい雰囲気づくりに努めてください。												

No.	027	—	1017	事務事業名	旧町誌編纂事務	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	歴史民俗資料館	係名	学芸係	電話番号	089-964-0701	メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営・一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 芸術・文化の振興		主要施策	(4)歴史民俗資料館の充実				
	事業の対象	旧町誌（重信町誌及び川内町新誌）が編纂されてから東温市となった平成16年9月21日までの間の町誌の編纂				根拠法令							
	事業の目的	最終的	旧町誌の続編として平成23・24年度に編纂、刊行、販売します。			今年度	旧町誌の続編として編纂作業を進めます。						
	活動内容	①	編纂委員会の基本方針に基づき、入札により業者を決定します。			④							
		②	編纂・編集・印刷製本業務を、編纂員と協議しながら進めます。			⑤							
		③	編纂作業完了ののち、刊行し、市民向け等に販売を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
				事業の性格上、指標設定になじまない		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円	平成23年度は、編纂員の賃金と消耗品等です。24年度に繰り越して編纂事務を行っています。							
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	2,114千円	1,576千円	5,233千円								
	計(A)	2,114千円	1,576千円	5,233千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.050人	377千円	0.180人	1,087千円	0.180人	1,089千円					
		臨時職員工数・経費	2.000人	3,404千円	0.705人	1,283千円	0.705人	1,321千円					
	全体事業費(A+B)		5,895千円		3,946千円		7,643千円						
一次評価者	学芸係	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	1	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	旧町誌続編の編纂は自治体の沿革史であり、市が主体となって実施する必要があります。												
有効性	旧町誌続編の編纂は、旧町誌発刊から合併までの期間を対象としています。収集された資料は、将来の市史編纂に活用されます。												
達成度	執筆の遅れ並びに多大な内容修正により、平成23年度末刊行の予定が大幅に遅れ、平成24年度刊行に向けて編纂作業を進めています。（原稿は全部出揃っています。）												
効率性	執筆者、編纂員、編纂委員会委員、担当職員が協力し、24年度刊行に向けて連携強化に努めています。												
当面の課題	執筆の遅れから工程が遅れ、更に内容精査により加筆訂正が多く発生し、編纂作業が思うように進んでいません。												
改革計画	一日も早く刊行できるよう、執筆者、編纂員、編纂委員会委員、担当職員、業者が協力して、1ページごと精査し、責了・印刷製本作業へと進めます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	1	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	思うように編纂作業が進んでいないようですが、刊行に向けて作業を進めてください。												